

特定非営利活動法人 YNF

設立趣意書

東日本大震災や熊本地震などこれまでの大規模災害の中でも、構造的な支援格差の問題や公的支援制度の欠陥により、被災者であるにも関わらず、救済されない方が潜在化してしまうなどの問題が発生してきました。

東日本大震災以降は「みなし仮設」住宅も本格的に運用され、被災者の生活環境は大幅に変化したものと言えます。また、熊本地震で大きな話題の一つになった「車中泊」は、避難所では対応できない現実を突きつけられたように感じます。

こうした、災害を取り巻く環境には、常に大きな変化が見られましたが、避難形態の違いから発生する構造的な支援格差の問題は、まだまだ認識すらされていない、というところではあります。

また、毎年のように大規模災害は発生しているものの、局所的であればあるほど、大規模な被害を受けた被災者でも支援は薄く、短期間で終わる傾向が一般化しています。

また、これまでの災害支援メニューには「生活再建」を意識したものが少なく、そのメニューの少なさは、災害支援の「固定化」をもたらしています。

わたしたちは「人に寄り添う」支援を実現することで、既成概念にとらわれることのない、新たな取り組みを災害支援の現場で行っていきます。

支援格差の解消と真に人に寄り添う支援を実現するため、またその背景に潜む、構造的な課題の周知・啓発を進めていくため、特定非営利活動法人 YNF の設立を行います。

平成 30 年 4 月 22 日

特定非営利活動法人 YNF

設立代表者 住所又は居所
福岡県福岡市西区上山門三丁目 14 番 6 号

氏名 江崎太郎 印